



ほけんだより

文責 看護師 宮原博子 H28

この度の熊本・大分地方で発生した地震による被害のお見舞いを申し上げます。
余震が続くなか、大人も子どもも落ち着かない毎日が続きますね。保育園が子どもたちにとって、少しでもホッとできる場所になり、余震に気が付かないくらい元気に笑って過ごすことが出来る場所になれば…！と考えています。無理はせず少しずつ！元の生活を取り戻していきましょう。



地震を経験してお子さんの様子はいかがですか？

子ども達の中には今回の地震のような安全を脅かされる体験をきっかけに、心理的な問題や不適応を起こすことがあります。子どもたちは、大人と違って自らの危機に対処する能力が十分に育っていません。特に年齢の低い子どもたちは怖い目にあった体験を、言葉で周囲にうまく伝えることができません。このような体験はその後の成長や発達に大きな障害となることがあるため、子どもの心のケアが重要です。子どもたちの傷ついた心を理解し、愛情のこもったケアをしていくことがとても大切です。こうした力に支えられて、子どもたちは徐々に元気を取り戻していくことができると言われています。

傷ついた子どもに見られるサイン

(幼児期)

- ・夜中に目を覚ます
- ・赤ちゃん返りがみられる
- ・大きな音に驚く
- ・世話をする人にまとわりつく
- ・急に体を硬くする
- ・体験したこと(地震の事など)を繰り返し話す
- ・ぐずったり、泣きわめく
- ・無口になる
- ・表情が乏しくなる
- ・保育園で体験に関連した遊びに友達を巻き込む
- ・元気がなくなり今までのように遊ばない
- ・眠ることや夜一人になるのを怖がる
- ・身体の不調を訴えるが、受診しても異常がない
- ・物事を思い通りにしたがる など



おとなにできる支援

- * 「大丈夫だよ」と言葉に出して子どもに伝えることが大切です。
- * 睡眠や食事などの日常生活を今まで通りに続けてください。
- * 世話をしてくれる大切な大人から不必要に引き離さないようにしましょう。
- * 楽しみにしていることは続けさせてあげる。
- * スキンシップを普段以上に持ち、気にかけてあげる。
- * 無理に思い出させるような刺激を避けましょう。



4月の感染症&内服状況

ひかり組	アデノウイルス 1名、突発性発疹 1名
	感性胃腸炎 1名 内服0回
にじ組	ロタウイルス 1名 内服30名
そよかせ組	なし 内服25回
3.4.5歳児	感染性胃腸炎 3名 内服26回



ほし組保護者の方へ

6/18(土)保育参観日 11:45~12:15
フッ化物洗口の説明会を予定しています。
ご参加のほどよろしくお願い致します。

